

## 指導と評価の一体化を目指して 外国語

学習指導要領の総則では、「授業の改善」（指導）と「評価の改善」（評価）を一体的に充実させていくことの重要性が示されています。学習評価によって、「児童生徒にどういった力が身に付いたか」を的確に捉えて、教師は指導の改善を図ること、児童生徒は自らの学習を振り返って次の学習に向かうことができるようにすることが大切です。ここでは、学習評価の進め方の手順と、指導と評価の計画の作成のポイントについて示します。

### ◎ 学習評価の進め方の手順

- (1) 単元の目標を作成
  - (2) 単元の評価規準を作成
  - (3) 「指導と評価の計画」を作成
- 授業を行う
- (4) 観点ごとに総括する

○学習指導要領の目標や内容、学習指導要領解説等を踏まえて作成する。  
○児童生徒の実態、前単元までの学習状況等を踏まえて作成する。

○(1)、(2)を踏まえ、評価場面や評価方法等を計画する。  
○どのような評価資料（児童生徒の反応やパフォーマンスなど）を基に、「おおむね満足できる」状況（B）と評価するかを考えたり、「努力を要する」状況（C）への手立て等を考えたりする。

○(3)に沿って観点別学習状況の評価を行い、児童生徒の学習改善や教師の指導改善につなげる。

○集めた評価資料やそれに基づく評価結果などから、観点ごとの総括的評価（A、B、C）を行う。

「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料（国立教育政策研究所）小学校外国語・外国語活動編 P.58～P.64 参照

#### 〈(1) 単元の目標（小学校第5学年の例）〉

相手に自分や第三者のことをよく知ってもらうために、できることやできないことなどについて、聞いた自分の考えや気持ちを含めて話したりすることができる。また、文字には音があることに気付くとともに、アルファベットの大きく・小さくを活字体で書くことができる。

※なお、本単元における「聞くこと」及び「読むこと」、「書くこと」については目標に向けて指導は行うが、本単元内で記録に残す評価は行わない。

#### 〈(2) 単元の評価規準（小学校第5学年の例）〉

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
話すこと「発表」	<知識> I/He/She can ～. Can you ～? など、自分や相手、第三者ができることやできないことを表す表現やその尋ね方、答え方について理解している。 <技能> I/He/She can ～. Can you ～? など、自分や相手、第三者ができることやできないことを表す表現などを用いて、自分の考えや気持ちなどを含めて話す技能を身に付けている。	相手に自分や第三者のことをよく知ってもらうために、自分や第三者ができることやできないことなどについて、自分の考えや気持ちなどを含めて話している。	相手に自分や第三者のことをよく知ってもらうために、自分や第三者ができることやできないことなどについて、自分の考えや気持ちなどを含めて話そうとしている。

#### 関係する領域別目標

- 「聞くこと」…イ ゆっくりはっきりと話されれば、日常生活に関する身近で簡単な事柄について、具体的な情報を聞き取ることができるようにする。
- 「読むこと」…イ 音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現の意味が分かるようにする。
- 「話すこと〔発表〕」…イ 自分のことについて、伝えようとする内容を整理した上で、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができるようにする。
- 「書くこと」…ア 大文字、小文字を活字体で書くことができるようにする。

〈(3)「話すこと[発表]」に焦点をおいた単元の指導と評価の計画(小学校第5学年の例)〉

時	目標◆・主な活動○	評価			
		知 技	思 考 表 現	態 度	
		評価規準〈評価方法〉			
1	◆動作を表す語や「できる」「できない」という表現が分かる。 ○Small Talk : 先生のできること・できないこと ○映像資料の映像なしに音声のみを聞いて、その人物が誰かを推測する。			本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、教師が児童の学習状況を確認する。	
	◆動作を表す語やあることができるかどうかについて聞いたり話したりすることができる。また、アルファベットの文字を活字体で書くことができる。 ○ポインティング・ゲーム ○15種類のイラストの中から、自分ができることを選んでペアの相手に伝える。			本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、教師が児童の学習状況を確認する。	
3	◆あることができるかどうかを尋ねたり答えたりできる。また、アルファベットの文字を活字体で書くことができる。 ○Small Talk : 好きなスポーツや趣味 ○ペアでできることできないことを予想して尋ね合う。			本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、教師が児童の学習状況を確認する。	
	◆あることができるかどうかについて聞いたり、尋ねたり答えたりできる。また、アルファベットの文字を活字体で書くことができる。 ○映像を視聴して、誌面に○や△を書いたり、指導者の質問に答えたりする。 ○友達にあることについてできるかどうかを尋ね、できる場合はイラストの下に名前を書いてもらう。	○		〔「話すこと [発表]」の記録に残す評価〕 ◎あることができるかどうかについて尋ねたり答えたりしている。〈行動観察・テキスト記述分析〉 ・児童が友達とできることできないことについて尋ねたり答えたりしている様子を観察し、評価の記録を残す。	
5	◆第三者ができることやできないことについて話を聞き取ることができる。また、アルファベットの文字の読み方には、名称のほかに音があることに気付く。 ○Small Talk : 好きな有名人 ○指導者による He/She を使った人物紹介を聞き、それが誰かを当てる。			本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、教師が児童の学習状況を確認する。	
	◆第三者についてできることやできないことを話すことができる。また、アルファベットの文字の読み方には、名称のほかに音があることに気付くとともに、アルファベットの活字体を書くことができる。 ○Who is he? Who is she? ・前時までに友達にインタビューしたことをもとに、クイズを出したり答えたりする。代表児童が出題して他の児童が答える。 ・グループで、順に児童が出すヒントを聞いてそれが学級の誰かを当てる ○例を参考に、自分のできることやできないことを書く。	○		〔「話すこと [発表]」の記録に残す評価〕 ◎友達について、He/She can ~. He/She can't ~. などの表現を用いて、できることやできないことを話している。〈行動観察〉 ・児童が友達のことについてクイズを出し合っている様子を観察し、評価の記録を残す。	
7	◆自分や身近な先生のことをよく知ってもらうために、できることやできないことなどについて、自分の考えや気持ちも含めて話すことができる。 ○Small Talk : Who is this? Quiz ○グループ内でペアの相手を替えながら、インタビュー結果をもとに先生ができることやできないことを、自分のことを含めて話す。 ○アドバイスし合い、改善をして次時のスピーチの準備をする。 ○読み聞かせを聞いて、話の概要を理解する。		○	○	第8時と合わせて行う 〔「話すこと [発表]」の記録に残す評価〕 ◎自分や身近な先生のことをよく知ってもらうために、できることやできないことなどについて、自分の考えや気持ちなどを含めて話している。〈行動観察〉 ◎自分や身近な先生のことをよく知ってもらうために、できることやできないことなどについて、自分の考えや気持ちなどを含めて話そうとしている。〈行動観察〉 ・児童が自分や先生のことを話している様子を見取り、評価の記録を残す。
	◆自分や先生のことをよく知ってもらうために、できることやできないことなどについて、自分の考えや気持ちも含めて話すことができる。また、アルファベットの文字を活字体で書くことができる。 ○デジタル教材を視聴して、音声について読む。 ○アルファベットの文字を見て、その音とその音で始まる動物を言う。 ○インタビュー結果をもとに、先生ができることやできないことを、自分のことを含めて話す。		○	○	第7時と合わせて行う 〔「話すこと [発表]」の記録に残す評価〕 ◎自分や身近な先生のことをよく知ってもらうために、できることやできないことなどについて、自分の考えや気持ちなどを含めて話している。〈行動観察〉 ◎自分や身近な先生のことをよく知ってもらうために、できることやできないことなどについて、自分の考えや気持ちなどを含めて話そうとしている。〈行動観察〉 ・児童が自分や先生のことを紹介し合っている様子から、評価の記録を残す。第7時で (b) に至っていないと判断した児童を優先して観察し、改善が見られた場合は記録に修正を加える。

・単元に応じた評価規準の設定から評価の総括までとともに、児童生徒の学習改善及び教師の指導改善までの一連の流れが大切です。  
・観点別の学習状況について評価する時期や場面の精選が重要です。〔指導に生かす評価(点線枠)〕と〔記録に残す評価(実線枠)〕